

山行報告書

報告書作成

2009年6月16日

山名 [山域]	尾瀬・台倉高山	目的と方法	花見山行 ハイキング
登山期間	2009/6/13・14	山行形態	前夜発 (車中泊) ピストン
参加人数	4人		

行動記録

6/12

(金) 豊田東IC 19:00 = 土岐JC 19:29 = 岡谷JC = 更埴JC = 上越JC = 長岡JC = 米山SA 24:10 (仮眠)

6/13(土) 米山SA 4:00 = 小出IC 5:00 = 道の駅ゆのたに 5:05 5:25 = R70 = 折立 = R352 = 奥只見シルバーライン = R50 = 津久の岐トンネル = 湯の沢トンネル = 黒又トンネル = 明神トンネル = 奥只見湖 = 樹海ライン = R352 = 御池P 7:20 8:15--燧裏林道 - 渋沢温泉分岐 9:45--三条の滝分岐 10:35 - 温泉小屋手前10:55 12:45--三条の滝分岐 13:30 - 渋沢温泉分岐 13:50--御池15:00 = 燧の湯() 15:20 16:10 = まる家 裁ちそば 17:10 = 馬坂峠登山口P 17:50(泊)

6/14(日) 馬坂峠登山口P 5:45--三段田代6:50--田代山 7:50 8:00 - 三段田代 9:00 - 馬坂峠登山口P 10:20 11:00--駒の湯 11:35 = 開山そば処 13:10 = R352=R289--只見駅 = R252 = 小出IC 15:50--長岡JC=米山SA 16:45 17:25--上越JC--更埴JC=みどり湖SA 19:35--岡谷JC--土岐JC--豊田東IC 22:20

概念図



日誌

豊田東IC ~ 東海北陸道 ~ 中央道 ~ 長野道 ~ 上信越道 ~ 北陸道 ~ 関越道 ~ R365 ~ 尾瀬 御池 Pまで 551km 約8時間の遠征。

途中 米山SAにて仮眠。3時間30分で大勢のハイカーで賑わう御池駐車場に着く。

身支度を整え燧岳への登山道を左に分け木道が続く燧裏林道は早い時間帯なのですれ違う人も少なく 水芭蕉の咲くミニ湿原や大きなブナが林立する森の中をのんびりと楽しむ。

下山後 桧枝岐村まで出て 温泉・夕食・買出しを済ませ 明るいうちに 馬坂峠の駐車場へ向かう。川俣桧枝岐林道は一車線の砂利道ではあるが手入れがされていて普通車でも問題ないが40分程かかります。馬坂峠から 台倉高山までは 登山道が整備されていて 迷う心配はありません。急登もなく残雪が残る登山道脇にはオサバグサが可憐な花をつけて迎えてくれます。下山時には駐車場は満杯状態。この時期 オサバグサ祭りが開催中で大勢のハイカーでにぎわっていました。

帰りは 道がいい只見駅経由で小出ICへ行きした。距離はありますが 時間的には余り代わりません。峠越えてはないので 運転は楽です。

御池駐車場 ¥1000 トイレ 風呂有 広い駐車場。

馬坂峠駐車場 30台 無料 トイレ AM4:00~PM4:00 水洗トイレ使用可 それ以外の時間帯は 仮設トイレ使用 可

川俣桧枝岐林道はオサバグサが開花する6月中旬より通行可能となる。

オサバグサ祭りの時期は多くの登山者が入山する為駐車場は満杯となる。

桧枝岐周辺にコンビニは無し。

駒の湯 ¥500 0241-75-2655

燧の湯 ¥600 0241-75-2290

開山 裁ちそば 0241-75-2039



道脇に咲くオサバ草の群落

感想

今回 尾瀬はメインのコースを避け 燧裏林道を歩いてきました。高層湿原の尾瀬のイメージとは程遠い 巨木のブナが林立する 深い森。尾瀬の裏の顔を見た気がしました。台倉高山は6月中旬~7月上旬まで オサバグサ開花期間中 大勢の花見登山で賑わう。対峙する帝釈山は人気の山でこちらも登山者が多く 駐車場は満杯。平成8年川俣桧枝岐林道が開通したため帝釈山への最短コースとして人気が出てきました。オサバグサは深山ではどこでもみれるポピュラーな花ですが群生すると存在感が増します。地元 桧枝岐の方たちの維持管理に頭がさがります。